

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	3
事業名	ALT職員人件費	
	会計	款
	一般	10
		1
		2
施策	3	心豊かなまち
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる
	3-1-1	幼児教育・学校教育の充実
主要施策	③学校教育環境の条件整備	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ネイティブ言語で話せる外国人を配置する。
事業内容	①〔外国語指導助手派遣事業〕一般財団法人自治体国際化協会、総務省、外務省、文部科学省等の運用されているJETプログラム (The Japan Exchange and Teaching Programme) を通じて、各中学校の英語授業を中心に外国語指導助手 (ALT=assistant language teacher) を配置する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年 (目標)	
指標	1	中学校英語時間数 (週/クラス)		2	時間		2	
	2	小学校外国語活動 (学期/クラス)		1	時間		1	
	3	小学校外国語活動5、6年 (週/クラス)		1	時間		1	
	4							
	5							
			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	平成31年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				11,929	13,964	12,558		
財源内訳	直接事業費 A			11,863	13,898	12,492		
	うち一般財源			7,209	13,898	12,492		
人件費 (千円) B				66	66	66		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.01	66	0.01	66	0.01	66
	臨時職員 (人・千円)			0		0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	より活用度を上げて、生徒の英語力向上に役立てたいと考えるが、現在の雇用人数では現授業時間数が限界である。
②H30年度に実施した取り組み	JETプログラムの雇用を通じて、それぞれの中学校へALTを各1名配置し、英語コミュニケーション力の向上を図った。	④今後の改善計画	ALTの効果的な活用と生徒とのコミュニケーションを活性化させることが重要と考え、ALTの質的維持も含めて現行の雇用を継続していく。